

豊島周辺環境モニタリング（水質・底質）の結果について

豊島処分地における暫定的な環境保全措置工事の周辺環境への影響を把握するため、工事前及び工事ピーク時の周辺地先海域及び海岸感潮域における水質及び底質調査を実施した。その結果は、次のとおりである。

1. 調査日

平成 12 年 7 月 27 日（木）…定期環境調査（工事前）

平成 13 年 7 月 18 日（水）…暫定的な環境保全措置工事ピーク時調査（工事中）

2. 調査地点（調査地点図参照）

(1) 定期環境調査（工事前）

① 周辺地先海域（4 地点；水質、底質）

S t - 1（南海岸沖）、S t - 3（西海岸沖）、S t - 4（北海岸沖）及び S t - 5（対照：家浦港沖）

② 海岸感潮域（3 地点；水質、底質）

S t - A（西海岸）、S t - B（北海岸）及び S t - E（北海岸）

(2) 暫定的な環境保全措置工事ピーク時調査（工事中）

① 周辺地先海域 （1）-①に同じ

② 海岸感潮域 （1）-②に同じ

3. 検体採取機関及び分析機関

(1) 検体採取機関：県廃棄物対策課、環境保全課

(2) 分析機関：県環境研究センター

4. 調査結果概要

(1) 定期環境調査（工事前）

① 周辺地先海域

ア 水質（表 1）

事前環境モニタリングの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○ 一般項目（生活環境保全上の基準：8 項目）

・全窒素が南海岸沖の S t - 1 と西海岸沖 S t - 3 において、D O が対照地点の S t - 5（家浦港沖）を含む 4 地点全てにおいて海域環境基準（A 類型・II 類型）を上回っていた。

・それ以外の項目については海域環境基準（A 類型・II 類型）を満足していた。

○ 健康項目（人の健康を保護する上での基準：24 項目）

・対照地点を含む全ての地点において検出されず、環境基準を満足していた。

○ その他の項目（4 項目）

・モリブデンとアンチモンが南海岸沖の S t - 1、北海岸沖の S t - 4、対照地点の S t - 5（家浦港沖）において検出された。モリブデンはいずれも指針値を下回っていた。

○ ダイオキシン類

・対照地点を含む全ての地点において環境基準を満足していた。

イ 底質 (表2)

- ・事前環境モニタリングの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。
- ・総水銀が対象地点のS t-5 (家浦港沖) を含む4地点全てにおいて検出されたが、暫定除去基準値以下であった。

②海岸感潮域

ア 間隙水の水質 (表3)

事前環境モニタリングの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目 (7項目)

- ・CODが北海岸のS t-BとS t-Eで、全窒素が北海岸のS t-Eで排水基準等(COD及びSSについては最終処分場に係る排水基準、これ以外は水質汚濁防止法に基づく排水基準)の値を上回っていた。
- ・それ以外については、基準を満足していた。

○健康項目 (24項目)

- ・ひ素が北海岸のS t-BとS t-Eで、ベンゼンが北海岸のS t-Eが検出されたが、排水基準値以下であった。
- ・それ以外については検出されなかった。

○その他の項目 (4項目)

- ・モリブデンとアンチモンが西海岸のS t-Aで検出された。
- ・それ以外については検出されなかった。

○ダイオキシン類

- ・すべて基準値を下回っていた。

イ 底質 (表4)

- ・事前環境モニタリングの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。
- ・総水銀が北海岸のS t-Bで、検出されたが、暫定除去基準値以下であった。

(2) 暫定的な環境保全措置工事ピーク時調査 (工事中)

①周辺地先海域

ア 水質 (表1)

事前環境モニタリングの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目 (生活環境保全上の基準: 8項目)

- ・CODが対照地点のS t-5 (家浦港沖) において、DOが4地点全てにおいて海域環境基準 (A類型・II類型) を上回っていた。
- ・それ以外の項目については海域環境基準 (A類型・II類型) を満足していた。

○健康項目 (人の健康を保護する上での基準: 24項目)

- ・対照地点を含む全ての地点において検出されず、環境基準を満足していた。

○その他の項目 (4項目)

- ・すべて検出されなかった。

○ダイオキシン類

- ・対照地点を含む全ての地点において環境基準を満足していた。

イ 底質 (表2)

- ・事前環境モニタリングの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。
- ・総水銀がS t-5 (家浦港沖) を含む4地点全てにおいて検出されたが、暫定除去基準値以下であった。

②海岸感潮域

ア 間隙水の水質 (表 3)

事前環境モニタリングの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目 (7 項目)

・CODが北海岸のS t - Bで排水基準等 (最終処分場に係る排水基準) の値を上回っていた。

・それ以外については、基準を満足していた。

○健康項目 (24 項目)

・検出されなかった。

○その他の項目 (4 項目)

・アンチモンが西海岸のS t - Aで検出された。

・それ以外については検出されなかった。

○ダイオキシン類

・西海岸のS t - Aで15pg-TEQ/lとダイオキシン類対策特別措置法の排水基準の10pg-TEQ/lを上回っていた。

・それ以外については、基準値を下回っていた。

イ 底質 (表 4)

・事前環境モニタリングの結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

・総水銀が北海岸のS t - Bで、検出されたが、暫定除去基準値以下であった。

表1 豊島における周辺環境モニタリング(周辺地先海域水質)

(大腸菌群数の単位:MPN/100ml、ダゲキシル類:pg-TEQ/L、pHを除く単位:mg/L)

測定項目	調査日	pH	SS	COD	DO	油分等	大腸菌 群数	全窒素	全リン	7種水銀	総水銀	ダゲキシル	鉛	六価 クロム	ヒ素	全フッ	PCB	トクソ エチン	トクソ エチン
南海岸沖 St-1	H12.7.27 (工事前)	8.0	3	1.5	6.2	ND	<1.8	0.57	0.027	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H13.7.18 (工事中)	7.7	6	1.3	6.9	ND	2.0	0.12	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
西海岸沖 St-3	H12.7.27 (工事前)	8.0	2	1.6	6.2	ND	<1.8	0.42	0.025	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H13.7.18 (工事中)	7.9	7	1.6	7.0	ND	<1.8	0.12	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値~最大値 (平均値)	8.0~ 8.1 (8.0)	—	1.4~ 2.0 (1.7)	6.3~ 8.9 (7.5)	ND	—	0.13~ 0.28 (0.22)	0.027~ 0.044 (0.036)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
北海岸沖 St-4	H12.7.27 (工事前)	8.0	4	1.9	6.7	ND	<1.8	0.17	0.025	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H13.7.18 (工事中)	7.9	7	1.4	7.0	ND	<1.8	0.13	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値~最大値 (平均値)	8.0~ 8.1 (8.1)	—	1.5~ 2.2 (1.9)	6.5~ 8.9 (7.6)	ND	—	0.12~ 0.38 (0.23)	0.026~ 0.044 (0.034)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
家浦港沖 St-5	H12.7.27 (工事前)	8.0	10	1.7	6.7	ND	1.8	0.19	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H13.7.18 (工事中)	8.0	7	2.1	7.3	ND	2.0	0.15	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
環境基準 (海域A・II類型)		7.8~ 8.3	—	≤2	≥7.5	ND	1,000	≤0.3	≤0.03	ND	≤0.0005	≤0.01	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01
検出下限値(ND)		—	<1	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005

測定項目	調査日	ジクロロ メタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロ エタン	1,1- ジクロロ エタン	1,1,2- ジクロロ エタン	1,1,1- トリクロロ エタン	1,1,2- トリクロロ エタン	1,3- ジクロロ プロパン	ベンゼン	トルエン	キシレン	ホルム アルデヒド	酢酸	有機 リン	ニッケル	トリブチル 鉛	アンチモン	塩素 イオン	ダゲキシル ²⁾	
南海岸沖 St-1	H12.7.27 (工事前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.001	18,500	0.086	
	H13.7.18 (工事中)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,300	0.078	
西海岸沖 St-3	H12.7.27 (工事前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.075	
	H13.7.18 (工事中)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,300	0.25	
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値~最大値 (平均値)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	<0.007~ 0.013 (0.009)	ND	17,400~ 18,600 (18,000)	0.065	
北海岸沖 St-4	H12.7.27 (工事前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.001	18,300	0.086
	H13.7.18 (工事中)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,200	0.14	
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値~最大値 (平均値)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	0.008~ 0.012 (0.009)	ND	17,200~ 18,600 (17,900)	0.065	
家浦港沖 St-5	H12.7.27 (工事前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.001	18,200	0.084
	H13.7.18 (工事中)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,900	0.41	
環境基準 (海域A・II類型)		≤0.02	≤0.002	≤0.004	≤0.02	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	—	—	0.07 ³⁾	—	—	≤1	
検出下限値(ND)		<0.002	<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.001	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

1) 事前環境モニタリングの結果(H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施)

2) ダゲキシル類(コブチル-PCBを含む)は、事前環境モニタリングについては1回分(H11.11.29)の測定データである。

3) 要監視項目指針値

表2 豊島における周辺環境モニタリング(周辺地先海域底質)

(強熱減量: %, 付着物類: pg-TEQ/g-dry, pHを除く単位: mg/kg-dry)

測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	カドミウム	鉛	ヒ素	全シアン	PCB	トリカドエチン	テトラカドエチン	銅	亜鉛	ニッケル	総クロム	総マンガン	有機リン	付着物類	
南海岸沖 St-1	H12.7.27 (工事前)	7.8	4,800	6	3.8	81	0.08	0.10	23	5.1	ND	ND	ND	ND	27	100	18	51	16,000	540	ND	2.8
	H13.7.18 (工事中)	7.5	9,200	60	5.1	120	0.09	0.11	21	5.3	ND	ND	ND	ND	26	120	21	52	21,000	540	ND	4.6
西海岸沖 St-3	H12.7.27 (工事前)	7.8	8,700	10	5.1	120	0.09	0.12	27	6.2	ND	ND	ND	ND	35	120	20	53	21,000	810	ND	5.3
	H13.7.18 (工事中)	7.6	9,000	120	4.2	150	0.08	0.09	21	5.5	ND	ND	ND	ND	21	110	18	47	19,000	550	ND	4.5
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値~最大値 (平均値)	7.6~ 7.8 (7.7)	4,100~ 8,700 (6,200)	59~ 84 (70)	3.0~ 4.6 (3.7)	100~ 240 (150)	0.08~ 0.09 (0.09)	0.07~ 0.11 (0.10)	16~ 24 (19)	4.6~ 7.4 (6.0)	ND	<0.0005	ND	ND	23~ 98 (47)	85~ 110 (95)	13~ 91 (34)	42~ 54 (46)	16,000~ 20,000 (18,000)	480~ 710 (620)	ND	5.8
	H12.7.27 (工事前)	7.8	9,300	18	5.4	110	0.13	0.13	31	5.8	ND	ND	ND	ND	41	140	19	67	24,000	700	ND	3.8
北海岸沖 St-4	H13.7.18 (工事中)	7.6	8,000	8	4.3	72	0.08	0.14	18	5.1	ND	ND	ND	ND	20	100	18	74	19,000	710	ND	4.4
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値~最大値 (平均値)	7.0~ 7.9 (7.6)	7,000~ 9,600 (7,800)	64~ 450 (190)	3.4~ 6.3 (4.7)	100~ 480 (270)	0.09~ 0.11 (0.10)	0.10~ 0.12 (0.12)	20~ 27 (24)	4.7~ 7.9 (6.3)	ND	<0.0005	ND	ND	24~ 43 (30)	86~ 120 (110)	15~ 22 (19)	52~ 55 (54)	20,000~ 23,000 (22,000)	670~ 840 (750)	ND	6.5
	H12.7.27 (工事前)	7.8	4,400	32	3.2	77	0.09	0.09	22	6.4	ND	ND	ND	ND	21	93	12	56	16,000	370	ND	1.8
家浦港沖 St-5	H13.7.18 (工事中)	7.6	4,600	44	2.5	52	0.07	0.08	21	4.7	ND	ND	ND	ND	15	81	19	51	14,000	330	ND	1.9
	平均値	7.6	6,600	176	3.7	387	0.44	0.19	25	5.3	<0.1	<0.01	—	—	—	—	—	32	—	—	<0.1	4.2
県内底質 ³⁾	最小~ 最大	6.6~ 8.2	320~ 23,000	<1~ 1,500	1.0~ 11	<50~ 1,400	0.01~ 5.1	<0.05~ 1.1	5.3~ 120	0.97~ 12	<0.1~ 0.2	<0.001~ <0.01	—	—	—	—	—	4.6~ 65	—	—	<0.1~ <0.1	0.52~ 9.4
	暫定除去基準 検出下限値(ND)	—	—	—	—	—	12	—	—	—	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

1) 事前環境モニタリングの結果 (H11.1.21, H11.6.16, H11.9.9, H11.11.29実施)

2) 付着物類 (コファ-PCBを含む) は、事前環境モニタリングについては1回分 (H11.11.29) の測定データである。

3) 県及び市町が平成8年度から平成10年度までに行った県内における底質の結果をまとめたものである。但し、付着物類については環境庁実施「平成11年度公共用水質等の付着物類調査」における県内の公共用水域底質調査結果である。

表3 豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域間隙水水質）

（大腸菌群数の単位：MPN/100ml、ダゲイシジ類：pg-TEQ/L、pHを除く単位：mg/L）

測定項目	調査日	pH	SS	COD	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	7種水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
西海岸 St-A	H12.7.27 (工事前)	7.7	1	1.0	ND	<1.8	0.27	0.041	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H13.7.18 (工事中)	7.4	16	1.7	ND	<1.8	0.25	0.052	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値～最大値 (平均値)	7.6～ 8.0 (7.8)	—	1.0～ 1.7 (1.3)	ND	—	0.16～ 0.40 (0.27)	0.026～ 0.065 (0.047)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
北海岸 St-B	H12.7.27 (工事前)	6.8	33	170	1.3	2.0	22	0.31	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND
	H13.7.18 (工事中)	6.9	36	130	2.2	4.0	23	0.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値～最大値 (平均値)	6.4～ 6.8 (6.7)	—	190～ 240 (210)	1.4～ 3.7 (2.4)	—	23～ 32 (29)	0.24～ 0.36 (0.31)	ND	ND	ND	ND	ND	<0.005～ 0.007 (0.006)	ND	ND	ND	ND
北海岸 St-E	H12.7.27 (工事前)	6.9	25	230	3.5	<1.8	170	0.84	ND	ND	ND	ND	ND	0.049	ND	ND	ND	ND
	H13.7.18 (工事中)	7.2	100	1.3	ND	1.8	14	0.20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値～最大値 (平均値)	6.6～ 7.1 (6.9)	—	140～ 420 (250)	1.6～ 9.2 (4.4)	—	98～ 280 (190)	0.33～ 0.90 (0.70)	ND	ND	ND	ND	ND	0.019～ 0.06 (0.043)	ND	ND	ND	ND
最悪処分場からの排水基準等		5.8～ 8.6	≤60	≤90	鉱油類等 ≤35	1,000	≤120	≤16	ND	≤0.005	≤0.1	≤0.1	≤0.5	≤0.1	≤1	≤0.003	≤0.3	≤0.1
検出下限値 (ND)		—	<1	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005

測定項目	調査日	ジクロロベンゼン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエタン	ジス-1,2-ジクロロエタン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	トルエン	キシレン	ネオペンタリン	エチルベンゼン	有機リン	ニカド	トリブチル鉛	アミン	塩素イオン	ダゲイシジ類 ²⁾
西海岸 St-A	H12.7.27 (工事前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	0.001	17,900	9.4
	H13.7.18 (工事中)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	17,500	15
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値～最大値 (平均値)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	<0.007～ 0.011 (0.009)	<0.001～ 0.001 (0.001)	17,100～ 18,600 (17,900)	37
北海岸 St-B	H12.7.27 (工事前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	11,100	0.43
	H13.7.18 (工事中)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	11,100	0.97
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値～最大値 (平均値)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	<0.001～ 0.001 (0.001)	ND	ND	ND	—	ND	ND	<0.007～ 0.041 (0.016)	ND	8,700～ 10,600 (9,800)	0.25
北海岸 St-E	H12.7.27 (工事前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7,900	1.1
	H13.7.18 (工事中)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,200	1.7
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値～最大値 (平均値)	ND	ND	<0.0004～ 0.010 (0.0028)	ND	ND	ND	ND	ND	0.004～ 0.13 (0.037)	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	6,300～ 12,800 (8,700)	0.096
最悪処分場からの排水基準等		≤0.2	≤0.02	≤0.04	≤0.2	≤0.4	≤3	≤0.06	≤0.02	≤0.1	≤0.06	≤0.03	≤0.2	≤0.1	—	—	—	—	—	≤10
検出下限値 (ND)		<0.002	<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.001	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.05	<0.007	<0.001	—	—

1) 事前環境モニタリングの結果 (H11.1.21, H11.6.16, H11.9.9, H11.11.29実施)

2) ダゲイシジ類 (OP' ナー-PCBを含む) は、事前環境モニタリングについては1回分 (H11.11.29) の測定データである。

表4 豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域底質）

（強熱減量：％、ダケイ粉類：pg-TEQ/g・dry、pHを除く単位：mg/kg・dry）

測定項目 測定場所	調査日	COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	カドミウム	鉛	ひ素	全フッ素	PCB	トリカドミウム	テトラカドミウム	銅	亜鉛	ニッケル	総クロム	総鉄	総マンガン	有機リン	ダケイ粉類 ²⁾
西海岸 St-A	H12.7.27 (工事前)	280	1	0.5	13	ND	0.06	28	3.4	ND	ND	ND	ND	160	110	6.9	6.8	6,400	180	ND	48
	H13.7.18 (工事中)	350	<1	0.4	9.9	ND	0.11	19	3.7	ND	ND	ND	ND	99	180	3.6	7.1	5,900	150	ND	38
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値～最大値 (平均値)	37～ 240 (180)	0.1～ 8.6 (3.9)	0.51～ 0.79 (0.63)	11～ 50 (30)	<0.0005～ 0.03 (0.0079)	<0.001～ 0.11 (0.053)	10～ 21 (18)	1.7～ 4.2 (3.1)	ND	ND	ND	ND	29～ 130 (84)	54～ 180 (120)	2.1～ 2.7 (2.5)	4.5～ 9.0 (6.3)	4,400～ 7,000 (5,700)	87～ 130 (100)	ND	78
北海岸 St-B	H12.7.27 (工事前)	2,400	57	1.5	31	0.01	ND	10	2.0	ND	ND	ND	ND	9.4	67	2.6	14.0	11,000	350	ND	3.2
	H13.7.18 (工事中)	3,800	21	2.2	39	0.01	0.12	10	3.2	ND	ND	ND	ND	13	100	4.4	12.0	6,700	630	ND	5.0
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値～最大値 (平均値)	2,300～ 3,000 (2,700)	15～ 110 (65)	1.2～ 1.7 (1.6)	4.9～ 120 (62)	0.01～ 0.01 (0.01)	<0.001～ 0.05 (0.013)	6.4～ 9.8 (8.4)	2.0～ 2.6 (2.3)	ND	ND	ND	ND	6.2～ 9.4 (8.4)	59～ 76 (68)	1.8～ 4.0 (2.7)	12～ 28 (17)	6,200～ 13,000 (11,000)	340～ 680 (480)	ND	21
北海岸 St-E	H12.7.27 (工事前)	1,400	100	0.9	230	ND	ND	73	5.0	ND	ND	ND	ND	26	43	1.7	4.0	7,000	810	ND	1.3
	H13.7.18 (工事中)	1,500	54	0.9	120	ND	ND	4.1	2.1	ND	ND	ND	ND	17	52	1.8	3.5	4,700	200	ND	2.2
	過去4回の結果 ¹⁾ 最小値～最大値 (平均値)	1,000～ 3,000 (1,700)	1.6～ 310 (92)	0.58～ 0.78 (0.71)	96～ 690 (360)	ND	<0.001	2.6～ 6.2 (4.5)	2.1～ 4.2 (2.8)	ND	ND	ND	ND	2.8～ 7.0 (5.0)	19～ 44 (29)	0.44～ 1.5 (0.8)	2.6～ 5.0 (4.2)	2,900～ 7,000 (4,800)	190～ 510 (330)	ND	1.8
県内底質 ³⁾	平均値	6,600	176	3.7	387	0.44	0.19	25	5.3	<0.1	<0.01	—	—	—	—	—	32	—	—	<0.1	4.2
	最小～ 最大	320～ 23,000	<1～ 1,500	1.0～ 11	<50～ 1400	0.01～ 5.1	<0.05～ 1.1	5.3～ 120	0.97～ 12	<0.1～ 0.2	<0.001～ <0.01	—	—	—	—	—	—	4.6～ 65	—	—	<0.1～ <0.1
暫定除去基準		—	—	—	—	12	—	—	—	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
検出下限値(ND)		—	—	—	—	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1	<0.01	<0.02	<0.005	<0.05	<0.5	<0.1	<0.1	—	—	<0.1	—

1) 事前環境モニタリングの結果（H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施）

2) ダケイ粉類（コパナーPCBを含む）は、事前環境モニタリングについては1回分（H11.11.29）の測定データである。

3) 県及び市町が平成8年度から平成10年度までに行った県内における底質の結果をまとめたものである。但し、ダケイ粉類については環境庁実施「平成11年度公共用水質等のダケイ粉類調査」における県内の公共用水域底質調査結果である。

調査地点図

